

2022 年度 事業報告書

2022 年度 事業報告

コロナ渦での閉塞感を打ち破る思いからか、若い世代を中心に野外活動が活性化して来ました。また気候変動をはじめとする環境分野での課題に対する国民の意識がこれまでになく高まり、社会活動の指標としてSDGsやESG経営等が一層の定着を見ました。このような状況の下、国民の祝日「山の日」の意義を広く国民に周知する本会の活動は、社会的公益性の観点からも、その重要性は格段に増しています。

2022年度は事業計画の遂行において引き続きコロナ渦による大きな影響を受けましたが、上記の状況を認識した本会の活動のリソースの状況を考えて、優先順位を付けて事業活動を進めました。

2021年6月に全面リニューアルしたホームページは、投稿数やアクセス数が大幅に増加し広がりを見せてきました。また富山県黒部市における「国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部」の2日間のセッション全ての動画を、短期間のうちにホームページに掲載することで、当会の発信機能は一定レベルの進展を見ました。アクセスに関連する分析技術を駆使し、画面の構成やコンテンツ等の見直しを継続的に行いました。これからもコンテンツの発信地域や分野の一層の拡大を図り、全国民に「山の日」の意義を伝える有力な手段に育ててまいります。

2022年度における第6回全国大会は8月10日11日に山形県山形市、上山市で開催し無事終了しました。2023年度の第7回全国大会は沖縄県ヤンバル地域国頭村、大宜味村、東村と八重山諸島の竹富町での開催です。これまでの開催地では主に「山」がテーマとされてきましたが、沖縄大会では世界自然遺産に選定された「豊かな自然」をテーマとする、幅広い「山の日」の意義を伝えられるよう準備を進めています。

国民の祝日「山の日」の理念を国民に伝え、また日本の山・自然や環境等の分野の課題を考える機会として、祝日「山の日」制定への足がかりになった「国際山岳年」20周年記念シンポジウムを、12月10日11日の2日間富山県黒部市にて開催いたしました。海外からの招聘者4名を含む約20名の登壇者、北海道から沖縄の国内各地から延400名の参加者がありました。

日本の山・自然や環境等の各分野、および諸外国での同分野の活動報告、事例報告、講演、パネルディスカッションを通じて課題を抽出し、解決施策の提示・案出の機会となりました。シンポジウムを通して、各分野で活動する人々・団体のネットワーク化を進め、今後のフォーラムやセミナー開催につなげて行くものにします。シンポジウムでは山基本法制定(仮称)の必要性が説明され、準備開始に向けての宣言がなされました。

今年度6月、理事3名、監事1名、評議員3名が就任し、組織運営強化に向けての進展を見ました。

法人・団体賛助会員は5団体の増加、個人賛助会員は約70名の増加、寄付金総額(個人・法人)約500万円となりました。みなさまからのご支援心よりお礼申し上げます。コロナ渦で対面での対外活動に制約が続いており、財務基盤の構築には課題が残りました。

2023年3月31日

一般財団法人全国山の日協議会

理事長 梶 正彦

1. 事業の目的

昨年度に引き続き、定款に記載された本会の目的とする12の事業を、つぎの5つの事業分野に集約し実施いたしました。

(1)「山の日」全国大会に関わる事業

【「山の日」全国大会】

(2)児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

【たくましい子どもたちの育成】

(3)山と自然を利用した、林野の利活用と水資源の保全に寄与する事業

【森林と水資源の保全】

(4)山と自然の事故・災害の防止を目的とする国土の利用、整備の事業

【山と自然の安全と防災】

(5)山と自然を利用した、地域社会の健全な発展に寄与する事業

【地域振興】

なお、各事業の実施にあたっては、上記の5つの分野が単体で展開されたもの、複数の事業分野を包括して展開されたものがあります。

また、これら事業の実施と並行し、運営体制の整備および強化、今後の活動を支える組織構築のため、

(1)広報メディアの全面リニューアル

(2)公益財団法人への移行準備

(3)山に親しむ機会を醸成するための法整備推進

をおこないました。

2. 実施概要

(1) 国民の祝日「山の日」の趣旨の浸透を図るため全国大会を開催し継続する事業

■ 第6回「山の日」全国大会やまがた2022（山形県、2022年開催）

2022年8月10日11日、「山を想い、山を愛し、山と生きる。～樹氷輝く蔵王のやまがたから、未来へ～」をテーマに、第6回「山の日」全国大会が開催されました。

本会は実行委員会の構成員として、この大会に参画しました。詳しくは「大会報告書」（発行日：2023年2月、発行：第6回「山の日」全国大会実行委員会）をご参照ください。

新型コロナウイルス感染防止対策として、8月10日のレセプションはアルコールの提供を控え、食事は持ち帰りのお弁当を用意、出席者数も減りました。また8月11日の記念式典はインターネット配信を行い、全国のみなさまと祝日「山の日」を共有しました。



■ 第7回「山の日」全国大会おきなわ2023（沖縄県、2023年に開催）

2023年8月11日第7回「山の日」全国大会開催予定。実行委員会構成員として開催準備に協力。

2023年2月には大会テーマおよび大会ロゴマークが決定し、また特設ページが開設され、プロモーション活動が本格的に開始しました。

<https://www.okinawa-mt.com/>



■ 第8回大会（2024年）以降の開催地について

「山の日」全国大会 開催基準要綱に基づき、先催県を除く都道府県に対して立候補のご意向伺いを2022年6月に発信しました。同時に全国知事会長、全国町村会長に立候補のお願いを申し添えていただけるよう文書を発信しました。

2023年3月末現在、2024年の第8回大会については関係機関の調整が進められています。

(2) 広報活動事業・催事開催事業など

【広報活動事業】

■ 山の日ホームページ

企業や団体様が推進しているESG課題への取り組みやSDGs活動は私たちのミッションである「山に親しむ機会を創り、山の恩恵に感謝しその意義を周知する活動」と重なる部分が多くあることから、オフィシャルパートナー様、特別団体賛助会員様のそのような活動を積極的にご紹介するページ「山の日応援団の声」を新設しました。

2022年12月10日、11日に開催された「国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部」については、見逃された方、ご興味のある方が、いつ訪問されても概要を知ることが出来て、リアル感あふれる講演を視聴出来るように全ての講演についてアーカイブしました。



また、ホームページのコンテンツも1,200件を超えたことから、新たな分類バナーの追加、関連記事表示設備を行い、訪問者が読みたいコンテンツを今まで以上に探しやすくしました。



【シンポジウム・イベント開催事業】

■ 国際山岳年プラス20 シンポジウムin黒部 「我ら皆、山の民」～現在と未来～

主催事業

期間:2022年12月10日(土)～12月11日(日)

会場:富山県黒部市宇奈月温泉 黒部市芸術創造センターセレネ

来場者数:370名

2002年に国際山岳年記念行事「山と自然のシンポジウム」が、2012年には「国際山岳年プラス10シンポジウム2012年」が開催され、2014年の国民の祝日「山の日」制定の大きな原動力となりました。この20年間で地球温暖化やエコリズムの影響から山岳地域を取り巻く環境は大きく変化していることを鑑みて、当会では日本や外国の研究者、そして地域で活動する方々とともに、この分野の持続可能な成長について改めて考え、この20年間の変化と現状を整理し、山や自然、広くは地球が抱える課題を抽出することを目的に、国際山岳年20周年に当たる2022年の12月10、11日の2日間に渡って、富山県黒部市に所在する黒部市芸術創造センターセレネを会場として「国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部 ～我ら皆、山の民 現在と未来～」を開催しました。開催にあたっては多くの方々に本事業へのご協賛、ご協力をいただきました。とくに北陸地方の企業・団体、そして黒部市にご支援をいただきました。なお、開催にあたっては、スタッフと来場者への感染対策、安全管理、地球温暖化対策、廃棄物対策等に十分配慮しました。プログラム（開催概要）、講演、各セッションの様子はホームページでご紹介しています。 → <https://www.yamanohi.net/report.php?id=2498>



告知フライヤーの表面は、山岳風景の写真を背景とし、イベントのタイトル「国際山岳年プラス20 シンポジウムin黒部」が大きく表示されています。下部には「我ら皆、山の民」～現在と未来～というサブタイトルと、開催日時「2022 12.10(土)～11(日)」が記載されています。また、会場「黒部市芸術創造センターセレネ」の情報も提供されています。



趣旨説明冊子の表紙は、山岳風景の写真を背景とし、タイトル「我ら皆、山の民」が大きく表示されています。下部には「国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部」のロゴと、開催日時「12月10日」「12月11日」が記載されています。また、各セッションの概要が簡潔に説明されています。

■ 「山の日」に係る催事(主催、共催、後援、協力等)

主催1件、共催2件、協力5件、後援27件 合計35件

件数	行事名	開催日	開催場所	
1	国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部	12月10日(土)～11日(日)	富山県	主催
2	第6回「山の日」全国大会やまがた2022	8月10日～11日	山形県	共催
3	岳都・松本「山岳フォーラム」	4月～令和5年3月	長野県	共催
4	「山の日」四方山祭り in 上高地 ※大会継続イベント	8月11日(木・祝山の日)	長野県	協力
5	くじゅうフェス2022 ※大会継続イベント	8月7日(日)	大分県	協力
6	やまなしで過ごす「山の日」2022 ※大会継続イベント	8月山の日中心 4月～令和5年3月	山梨県	協力
7	みどりふれあうフェスティバル ※林野庁	5月14日(土)～15日(日)	東京都	協力
8	長野県の野生動物保護管理について考える	令和5年3月21日(祝)	オンライン	協力
9	百万人の山と自然「安全のための知識と技術 公開講座」	6月 12月	愛知、福岡、神奈川	後援
10	大人のトレイル歩き旅講座(全6回)	4月～令和5年3月	長野県	後援
11	ロングトレイルハイカー入門講座(全6回)	5月14日(土)～令和5年2月5日(日)	長野県	後援
12	子どもクライミング教室(全4回)	5月21日.22日.6月11日.12日	長野県	後援
13	山でチャレンジ!! 応援キャンペーン2022	5月～10月	全国	後援
14	高原山開き	5月22日(日)	栃木県	後援
15	第20回ひろしま「山の日」県民の集い	6月5日(日)	広島県	後援
16	第8回夏山フェスタ	6月11日(土)～12日(日)	愛知県	後援
17	夏山フェスタ福岡2022	6月25日(土)～26日(日)	福岡県	後援
18	モン・ブックス山の日フォトコンテスト	7月1日～9月1日	SNS	後援
19	第65回高頭祭	7月25日(月)	新潟県	後援
20	第5回糸魚川ジオパーク子ども登山教室	8月11日(木・祝山の日)	新潟県	後援
21	房総の山復興「山の日」記念講演会	8月11日(木・祝山の日)	千葉県	後援
22	『山の日登山』ふるさとを登ろうin日田・亀石山	8月11日(木・祝山の日)	大分県	後援
23	石鎚山系瓶ヶ森「環境啓発親子登山」	8月11日(木・祝山の日)	愛媛県	後援
24	ダイヤモンド浅間を見に行こう!【日の出編】	8月27日(土)	長野県	後援
25	子どもクライミング教室(全6回)	9月3日.4日.10月1日.2日.15日.16日	長野県	後援
26	パール浅間を見に行こう!【月の出編】	10月10日(月・祝)	長野県	後援
27	「花と墨と 二人展」池坊いけばな 井上恵雨 書道 今井	10月10日(月・祝)～15日(土)	東京都	後援
28	ぐんま山フェスタ2022	10月22日(土)～23日(日)	群馬県	後援
29	ダイヤモンド浅間を見に行こう!【日の入り編】	10月31日(月)	長野県	後援
30	佐久自然ふれあい集会2022	11月14日(月)～15日(火)	長野県	後援
31	たかはら里山の集い	11月20日(日)	栃木県	後援
32	イヌブナ自然林ガイド人養成検討会	11月23日(水・祝)	栃木県	後援
33	第10回大野山アウトドアふゆフェスタ	12月3日(土)	神奈川県	後援
34	登山道フォーラム ※山形大会連携イベント	3月10日(金)	山形県	後援
35	里山学講義2023	3月17日(金)	栃木県	後援

3. 山の日アンバサダー就任者について

国民の祝日「山の日」の更なる周知の一翼を担っていただき、併せて当会の目的と社会的公益性を対外的にアピールして下さるキーパーソンとして、2023年3月末現在で30名の「山の日アンバサダー」にご就任いただき、本会の情報発信のサテライト機関として「山の日」の趣旨と主催事業等の告知協力、そして催事を始めとする広報活動への協力などにお力添えいただいています。



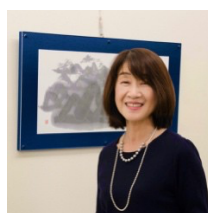
石丸謙二郎



伊藤 伴



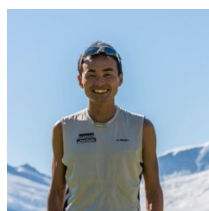
猪熊隆之



今井香子



桜花



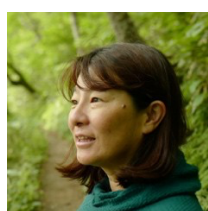
奥宮俊祐



加賀谷はつみ



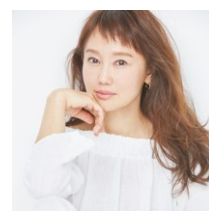
片山右京



柏 澄子



角谷道弘



工藤夕貴



小林綾子



小林千穂



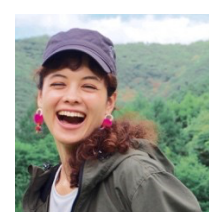
近藤謙司



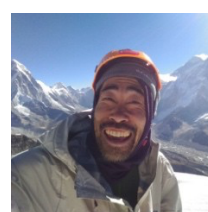
シェルパ斉藤



釈由美子



仲川希良



なすび



中村みつを



野口健



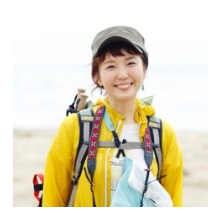
萩原浩司



花谷泰広



ヤマノススメ



四角友里



吉井省一



Lama Gyalu



若村麻由美



渡部暁斗



かほ



高橋勇市

※2022年度は高橋勇市さんが就任されました。

高橋勇市さんは視覚障害の陸上競技・マラソン選手。秋田県横手市出身、三菱商事所属。2004年アテネパラリンピックマラソンの金メダリスト。2008年北京大会、2012年ロンドン大会と3大会連続出場。現在は、障害者スポーツの魅力発信、普及活動を行いながら競技と登山を続けています。

4. 賛助会員

基本財産の運用から得られる運用益が少額であることから、各種事業の財源の多くをオフィシャルパートナーの協賛金、賛助会員の会費に求めています。

事業の実施、事務局機能の維持のため、持続的な財源確保は重要な課題であり、賛助会員入会、オフィシャルパートナー就任については尚一層努力し、会費収入を増加させるために関係者にご協力をお願いするとともに、役職員一丸となって入会者を増加させる活動を行っております。

なお、現在オフィシャルパートナーとして、味の素株式会社様、株式会社ゴールドウイン様、日清食品ホールディングス株式会社様、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー様にご協賛をいただいております。

2023年3月末現在の賛助会員数は次のとおりです。

■オフィシャルパートナー

味の素株式会社、株式会社ゴールドウイン、日清食品ホールディングス株式会社、株式会社マツキヨココカラ&カンパニーの4社

■団体会員については【資料1】 団体会員の概要をご覧ください

団体賛助会員	113団体
個人賛助会員	320名

■多くの方々からご寄付をいただきました。

2023年3月20日 時点での寄附額は5,010,420円でした。

この場をおかりしまして心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

【資料1】オフィシャルパートナーおよび団体会員のご紹介

113団体の内訳は下記の通りです。

■ オフィシャルパートナー:4社

味の素株式会社
株式会社ゴールドウイン
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

■ 特別団体会員(3口以上):20団体

味の素株式会社、株式会社アドベンチャーガイズ、アルピコホールディングス株式会社、株式会社インテリジェント ウェーブ、OMC株式会社、AUTHENTIC JAPAN 株式会社、キリンホールディングス株式会社、株式会社好日山荘、株式会社コロニアスポーツウェアジャパン、株式会社ゴールドウイン、電気事業連合会、東海旅客鉄道株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、日精エー・エス・ビー機械株式会社、日本勤労者山岳連盟、公益社団法人日本山岳会、日本山岳救助機構合同会社、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、株式会社マツキヨココカラ&カンパニー、株式会社モンベル

■ 地方公共団体会員(1口または2口):29団体

大分県、沖縄県、岐阜県、栃木県、鳥取県、富山県、長野県、山形県、山梨県(9県)
安曇野市、大町市、小谷村、加賀市、上山市、川上村、甲府市、九重町、塩谷町、大山町、高山市、竹田市、丹波山村、那須町、白馬村、早川町、松本市、山形市、遊佐町、米子市(20市町村)

■ 団体会員(1口または2口):64団体

株式会社アド・アバブ、アルパインツアーサービス株式会社、イワタニ・プリムス株式会社、学校法人インディアインターナショナルスクール学園、International Society of Nature and Forest Medicine(INFOM)、インフカム株式会社、株式会社エイアンドエフ、株式会社エスエスケイ、大崎上島「山の日」神峰山、岡谷商工会議所、奥飛観光開発株式会社、カリマー インターナショナル株式会社、株式会社カンセキWILD-1、関東自動車株式会社、キーン・ジャパン合同会社、北アルプス北部山小屋組合、北アルプス山小屋友交会、京王電鉄株式会社、学校法人国際自然環境アウトドア専門学校、西条・山と水の環境機構、一般財団法人自然公園財団、株式会社下野新聞社、JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD運営委員会、株式会社スペースキー、株式会社総合サービス、大東カカオ株式会社、高尾登山電鉄株式会社、立山山荘協同組合、谷川岳エコツーリズム推進協議会、株式会社タンタカ、株式会社中部経済新聞社、超党派「山の日」議員連盟、国立大学法人筑波大学山岳科学センター、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、東京山岳ガイド協会、有限会社徳澤園、株式会社トラベルギャラリー、株式会社ナカニシヤ出版、中村社会保険労務士事務所、一般社団法人日本アルプスガイドセンター、公益社団法人日本環境教育フォーラム、公益社団法人日本山岳ガイド協会、日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社、一般社団法人日本秘湯を守る会、特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会、ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、株式会社finetrack、特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会、富士急行株式会社、特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議、株式会社ベネクス、細谷火工株式会社、株式会社ボルテージコミュニケーションズ、株式会社毎日企画サービス、MAMMUT SPORTS GROUP JAPAN 株式会社、株式会社ミウラ・ドルフィンズ、ミズノ株式会社、ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社、株式会社山と溪谷社、一般社団法人山と水と緑の会、山梨大学山岳科学特別教育プログラム、ヤマノススメ Next Summit、槍ヶ岳観光株式会社、雷電株式会社

5. 評議員、理事、監事の紹介 2023年3月現在

【評議員 14 名】

評議員	青柳 正規	多摩美術大学理事長 元文化庁長官
評議員	安住 淳	衆議院議員 超党派「山の日」議員連盟副会長
評議員	今井 通子	医師 国際自然森林医学会会長
評議員	尾上 昇	公益社団法人日本山岳会 元会長
評議員	鹿野 勝彦	金沢大学名誉教授
評議員	城崎建太郎	弁護士
評議員	高野 孝子	特定非営利活動法人 ECOPLUS 代表理事
評議員	武田 健二	コランダム・イノベーション(株) 共同創業者取締役 元理化学研究所理事
評議員(新任)	竹村公太郎	特定非営利活動法人日本水フォーラム 代表理事
評議員(新任)	鳥居 敏男	一般財団法人自然公園財団 専務理事
評議員(新任)	本郷 浩二	一般社団法人全国木材組合連合会 副会長
評議員	丸川 珠代	参議院議員 超党派「山の日」議員連盟 幹事長
評議員	水野 正人	ミズノ株式会社 相談役会長
評議員	安成 哲三	総合地球環境学研究所 前所長

【理事 14名 監事 2名】

理事 会長	谷垣 禎一	元衆議院議員
理事 副会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事 副会長	衛藤征士郎	衆議院議員 超党派「山の日」議員連盟 会長
理事 副会長	橋本 岳	衆議院議員 元厚生労働副大臣
理事 副会長	務台 俊介	衆議院議員 元環境副大臣兼内閣府副大臣 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
理事 理事長	梶 正彦	タタ・コンサルタンシー・サービス・ジャパン株式会社 前会長
理事 常務理事	三木 健一	株式会社インテリジェントウェイブ取締役 元大和証券常務取締役副管理本部長(システム部門等担当)
理事 常務理事	小林 正樹	元日本アイ・ピー・エム(株)技術理事 元レノボ・ジャパン(株)常務執行役員
理事 事務局長	手塚 友恵	公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事
理事	加藤銀次郎	一般財団法人自然公園財団 上高地支部 所長
理事	佐野 忠則	公益社団法人日本山岳会 監事
理事	古川 研吾	公認会計士 公益社団法人日本山岳会 元公益法人運営委員
理事(新任)	望月 賢司	弁護士 望月賢司法律事務所代表
理事	吉川 正幸	公認会計士 日本山岳会高尾の森づくりの会代表
監事	中村 達	特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会 代表理事
監事	長谷川臣介	公認会計士



一般財団法人
全国山の日協議会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10-5 ハツ橋ビル 301 号室

TEL 03-5315-0652 FAX 03-5315-0653

メール office@yamanohi.net URL <https://www.yamanohi.net>